

## 児童相談所設置に向けた特別区の実施経過

- 平成28年5月、児童虐待について発生予防から自立支援まで一連の対策の更なる強化等を図るための児童福祉法等の一部を改正する法律が成立し、同年6月に公布された。
- この改正により、平成29年4月から、政令で定める特別区が児童相談所を設置できるようになり、併せて、政府が法施行後5年を目途として、中核市及び特別区が児童相談所を設置できるよう必要な支援を実施することとされた。
- この改正を受けて、22区が児童相談所の設置に向けて検討を進めることを表明し、都や近隣縣市等の児童相談所への派遣研修による人材育成を行うとともに、平成29年6月から、令和2年度設置区（世田谷区、荒川区、江戸川区）の児童相談所設置計画案について、都によるモデル的な確認作業が行われ、その経過を設置希望区にフィードバックしながら設置準備が進められてきた。  
また、平成30年5月から、都区間で児童養護施設等の入所や一時保護等に関する広域調整に係る検討が行われた。
- 世田谷区及び江戸川区が令和2年4月、荒川区が同年7月、港区が令和3年4月に児童相談所設置市となった。なお、中野区は令和4年4月から児童相談所設置市となる予定である。

### 平成28年児童福祉法改正前の主な取組等

- 平成20年 6月 「都区のあり方検討委員会幹事会」で、児童相談所設置などに関する事務について、区へ移管する方向で検討する事務として整理
- 平成24年 2月 都区のあり方検討委員会とは別に、都区の実務者で構成する「児童相談所のあり方等児童相談行政に関する検討会」を設置し、検討を開始
- 平成25年11月 「特別区児童相談所移管モデル」を作成
- 平成26年10月 「特別区児童相談所移管モデル」を基本に、各区で具体化に向けた検討を行い、整理・とりまとめ
- 平成27年 7月 区長による児童相談所・児童養護施設の視察を実施
- 平成27年12月 特別区長会意見書「新たな子ども家庭福祉のあり方に関する専門委員会報告案（たたき台）について」を提出

### 平成28年児童福祉法改正後の主な取組等

- 平成28年 5月 特別区長会会長コメント「児童福祉法等の一部を改正する法律の

成立について」を公表

- |       |     |   |
|-------|-----|---|
| 平成28年 | 7月  | 児童相談所の移管準備を進めるため、区の関係部課長等で構成する「特別区児童相談所移管準備連絡調整会議」を設置                             |
| 平成28年 | 11月 | 児童相談所開設に向けたロードマップの作成  |
| 平成29年 | 4月  | 各区が都の児童相談所への派遣研修を開始   |
| 平成29年 | 6月  | 世田谷区・荒川区・江戸川区と都との間で、「児童相談所設置計画案のモデル的確認作業」を開始                                      |
| 平成30年 | 4月  | 各区が近隣区市等の児童相談所への派遣研修を開始   |
| 平成30年 | 5月  | 児童養護施設等の入所施設や里親、一時保護所の広域的な調整に関する事項を協議するため、「特別区児童相談所の設置に向けた広域調整に係る検討会」を設置し、都と検討を開始 |
| 平成31年 | 2月  | 児童相談所移管に係る課題の対応策について、整理・とりまとめ   |
| 令和元年  | 8月  | 特別区長会会長コメント「世田谷区及び江戸川区を児童相談所設置市に指定する政令の閣議決定について」を公表                               |
| 令和2年  | 4月  | 世田谷区及び江戸川区が児童相談所を開設<br>「特別区児童相談所移管準備連絡調整会議」を「特別区児童相談所設置等に関する連絡会」に改組               |
| 令和2年  | 7月  | 荒川区が児童相談所を開設  |
| 令和3年  | 4月  | 港区が児童相談所を開設   |
| 令和3年  | 8月  | 中野区を児童相談所設置市に指定する政令が公布  |

\* 上記の取組に加え、専門職採用の拡大や法定研修を含む関連研修の拡充等の取組を行っている。